



北の空 君は無限の可能性

全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会

Special Issue

絆を力に開催



8月1日から4日まで八幡平市を舞台に開催された全国高等学校総合体育大会（北東北インターハイ）レスリング競技大会。それは、東日本大震災の影響で、姉妹都市の宮古市が開催できなくなったことを受け、八幡平市に急ぎよ会場を変更して開催されたものだった。

短い期間で準備を進め、全国の高校生が熱戦を繰り広げたスポーツの祭典を振り返る。
（写真＝全国から選手・役員など約1,200人が集まり開催された開会式【8月1日】）

広報 はちまんたい
Sep.2011 No.134

CONTENTS

- 目次
- 02 **Zoom Up** 人 遠藤絢乃さん
- 03 **Special Issue** 絆を力に開催
インターハイレスリング競技
- 08 **Pick Up** 八幡平市成人式
未来への誓い
- 10 震災復興に向けた取り組み
- 11 **NEWS&INFORMATION**
市職員対象の放射能に関する研修
会開催 ほか
- 12 **Event** はちまんたい大集合フェスタ
- 13 **Sports** 各種スポーツ大会成績
- 14 **各課からのHOT LINE**
保育所一時保育／農業者年金／9
月は県自殺予防月間
- 16 **話題ピックアップ**
八幡平市夏まつり／田山ジュニア
サマージャンプ大会 ほか
- 18 **福祉ネットワーク**
保健のひろば 介護のココロ
環境のみらい
- 19 **まちの企業探検隊**
㈱センウッドコーポレーション
われらスポーツ少年団No.15
松尾バレーボールスポーツ少年団
- 20 博物館だより 図書館だより
- 21 よろこび おくやみ
人口の動き 交通事故件数など
広報クイズ
- 22 **INFORMATION** お知らせ
- 24 八幡平いにしへの宝
大揚沼のモリアオガエルおよび
その繁殖地



遠藤 絢乃 さん

えんどう・あやの 西根中2年 高宮

◎profile

平成10年八幡平市（旧西根町）生まれ。3歳からピアノを習い始める。ピティナ・ピアノコンペティションをはじめ、各大会での入賞多数。「人とのつながりを大切に」がモットー。尊敬する人は桜庭由美子先生。曾祖母、祖父母、両親、弟2人の8人家族。血液型B型のみずがめ座。13歳。

緊

張したけれど、あこがれの王子ホールのステージで、楽しみながらピアノを演奏できた。

8月18日から21日まで東京都で開かれた第35回ピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会D級（中学校2年生以下）に出場した。同コンペは、全国で延べ4万人超が参加する世界最大級のピアノコンクール。遠藤さんは、小学校1年生のときから出場し、これまで優秀賞など多数入賞していたが、全国の場には手

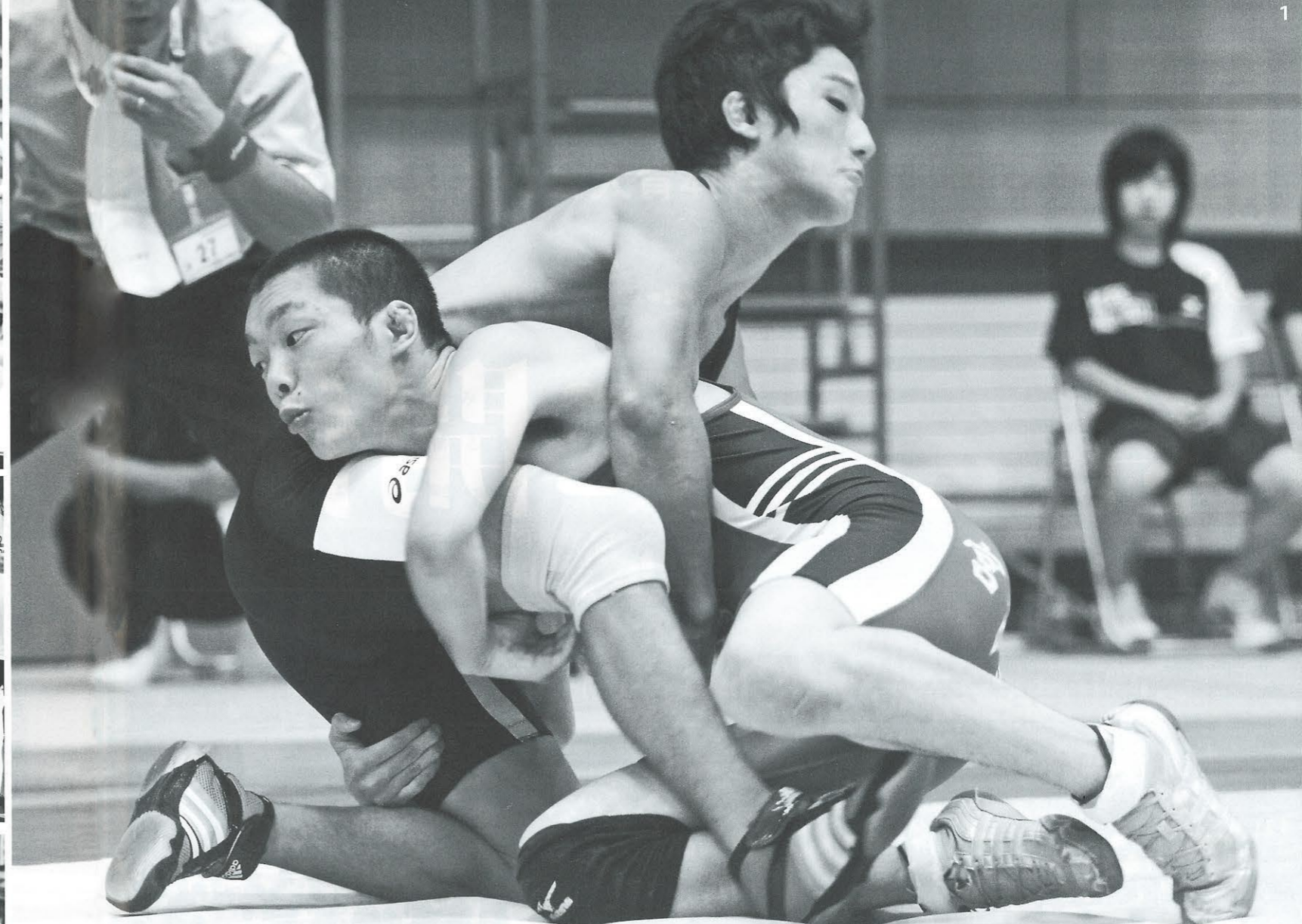
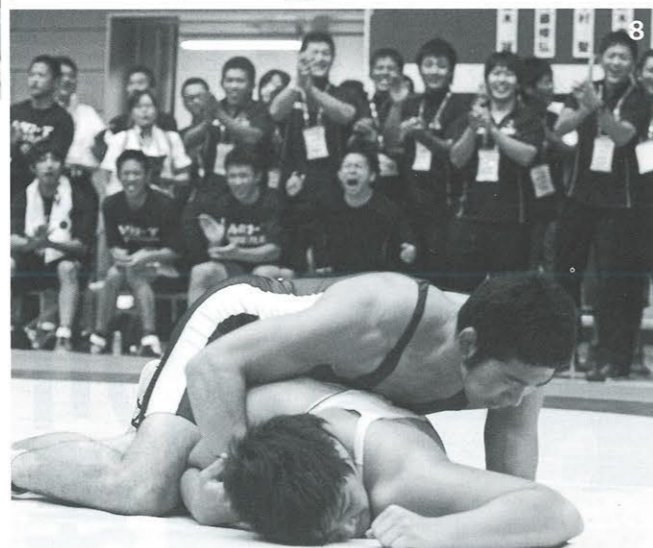
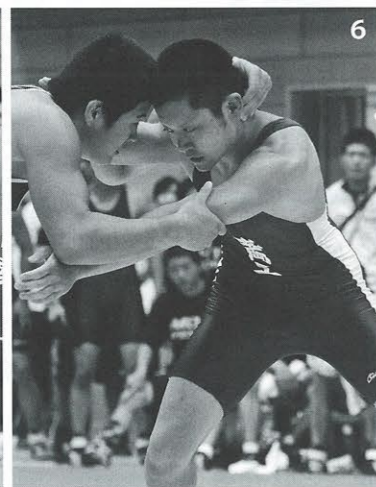
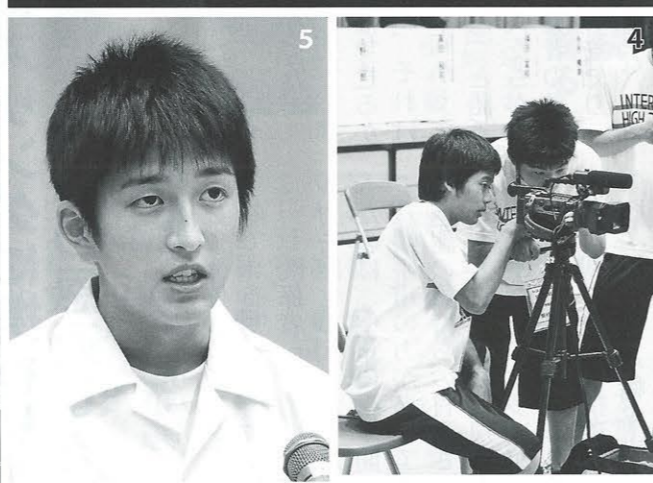
地区本選第1位に輝き 全国決勝大会に出場

が届かなかった。8回目の挑戦でつかんだ出場だった。桜庭由美子ピアノ教室で指導を受ける遠藤さん。毎日家では2時間以上の練習を欠かさないが、「決勝大会に進めたのは、一緒に頑張っている教室のみんなのおかげ」と語る。今回出場して「もっと聴く人が曲に引き込まれるような演奏をしたい。ショパンのコンチェルト（協奏曲）第1番が弾けるようになりたい」と新しい目標を掲げた遠藤さんは、今日もピアノに向かう。



今月の表紙

八幡平市成人式は8月15日、西根地区体育館で行われました。本年度は対象者316人のうち208人が出席。新成人は久しぶりの旧友との再会を喜びとともに、古里・八幡平で決意も新たに大人への第一歩を踏み出しました。【関連記事8・9頁】



1_大会には、震災を乗り越えた宮古商業の選手も県の代表として出場(写真=個人対抗60kg級・果敢に相手に飛び込む千崎卓選手【3年】) 2_開会式で「レスリングができることに感謝し、日本に勇気と感動を与え、力の限り戦う」と選手宣誓した盛岡工業レスリング部主将の村上哲選手(3年、安代中卒) 3_「私たちと一緒に頑張ります」「笑顔を大切にしていれば乗り越えよう 応援しています」など震災からの復興を目指す岩手県を応援する横断幕が会場に掲げられた(写真=宮崎県から寄せられたもの) 4_大会では、県内の高校のレスリング部員など多くの人が補助員として活躍 5_開会式で歓迎の言葉を述べるインターハイ高校生活動推進委員会宮古支部代表の佐々木廉さん(宮古工業3年) 6・7_地元での大舞台で声援を受けて懸命に戦った遠藤貴哉選手【写真6】と伊藤友博選手【写真7】(ともに盛岡工業2年、西根第一中卒) 8_学校対抗2回戦・盛岡工業対太田商業(群馬)は、最終戦までもつれる接戦に。盛岡工業120kg級の工藤悟選手がバックを取りポイントを奪うと、のときは会場スタッフもベンチやスタンドに詰め掛け、会場は大声援がわき上がった

震災乗り越え

宮古市の願い受け 全国の頂点を決める 舞台が八幡平市に

熱

戦の幕開けとなる開会式は、東日本大震災犠牲者への黙とうから始まった。

全国高等学校総合体育大会(北東北インターハイ)レスリング競技大会は8月1日から4日まで市総合運動公園体育館で開催された。

同大会は、10年ぶりの開催に向け準備を進めてきた姉妹都市・宮古市が、震災の影響で開催を断念せざるを得なくなったことを受け、5月に八幡平市で開催することが決定したものだ。

開会式では、田村正彦八幡平市長のあいさつに続き、本来開催予定地だった宮古市の山本正徳市長が「引き受けてくれた八幡平市に感謝している」と述べ、「皆さん一人一人

の試合が被災地には励みになり、勇気を与え、復興への道となる」と選手を激励。インターハイ高校生活動推進委員会宮古支部代表の佐々木廉さん(宮古工業3年)は「震災で私たちが絶望のふちにある時、全国から頂いた数えきれない励ましや支援で、明日へ生きる力が湧いてきたとともに、人と人との絆の深さを知った。全力で競技に臨み、友情と絆を深め、八幡平市を思い出の地としてほしい」と歓迎の言葉を述べた。

今回の大会は、同じく震災の影響で、3月に新潟県で予定されていたレスリングの全国高等学校選抜大会が中止となり、高校生にとっては、今年初の全国大会。選手たちは、大会が開催される喜びを胸に、高校生の頂点を目指し、マット上で熱戦を繰り広げた。また、この大会には、盛岡工業高校の村上哲さん(3年、安代中卒)、遠藤貴哉さん、伊藤友博さん(ともに2年、西根第一中卒)の市内出身3選手が出場。地元の声援を背に受け、全国の強豪と戦いました。一時は、大会の開催すら危ぶまれたが、約3カ月という短い準備期間で、多くの人の力と支えがあり開催できた。今回のインターハイは、震災復興への一つのカタチではないだろうか。

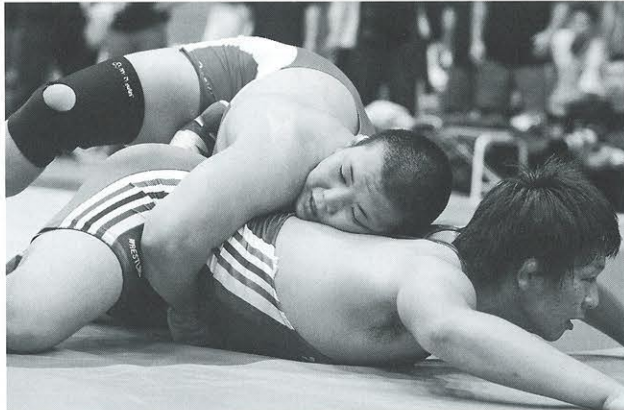


Result

※各種目3位までの入賞と県勢の成績(敬称略)

- 【県勢の記録】
- ◇1回戦 市 0-7 香川中央 (岩手第2)
 - ◇2回戦 盛岡工業 4-3 太田商 (岩手第1)

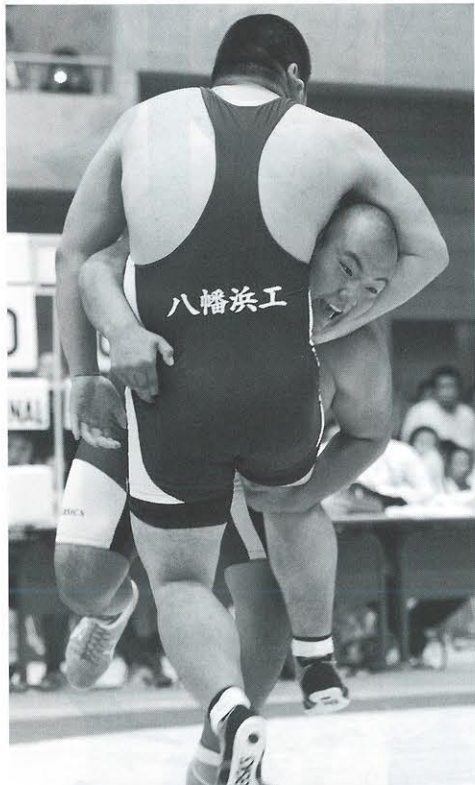
学校対抗決勝・84kg級 相手のバックに回り込んでポイント奪って勝利し、22回目の優勝を決めた長知宏選手(茨城・霞ヶ浦)



学校対抗 霞ヶ浦4年連続 22回目の優勝飾る

①霞ヶ浦(茨城) ②花咲徳栄(埼玉) ③浦添工業(沖縄) ④島原(長崎)

【最優秀選手】 古谷和樹(60kg級、茨城・霞ヶ浦)



個人対抗120kg級決勝 力強いタックルでポイントを重ね、優勝した園田新選手(滋賀・日野)

個人対抗 高橋侑希選手が 55kg級3連覇達成

◇50kg級 ①阿部宏隆(茨城・鹿島学園) ②田代大貴(佐賀・鹿島実業) ③喜多雄介(福岡・三井)

◇55kg級 ①高橋侑希(三重・いなべ総合学園) ②太田忍(山口・柳井学園) ③平井見治(青森・八戸)

◇60kg級 ①山田龍誠(山梨・葎崎工業)

盛岡工業 1-6 鹿屋中央 (岩手第1)

▽66kg級 ●伊藤友博 [0-2]

▽74kg級 ●村上哲 [0-2]

▽84kg級 ●遠藤貴哉 [フォール 1P 45秒]

◇3回戦

◇60kg級 ①川瀬克祥(三重・いなべ総合学園) ②浅倉凱斗(東京・自由ヶ丘学園) ③多古島伸佳(秋田・明桜)

◇66kg級 ①水野真斗(京都・網野) ②中村百次郎(佐賀・鹿島実業)

◇74kg級 ①山下俊介(茨城・霞ヶ浦) ②白井勝太(東京・帝京)

◇84kg級 ①与那覇竜太(沖縄・浦添工業) ②長知宏(茨城・霞ヶ浦) ③伊藤大貴(三重・四日市四郷)

◇96kg級 ①山本康稀(埼玉・花咲徳栄) ②志喜屋正明(沖縄・浦添工業) ③齊藤拳斗(秋田・秋田商業)

◇120kg級 ①園田新(滋賀・日野) ②津田大健(愛媛・八幡浜工業) ③池田雄人(愛知・星城)

▽66kg級2回戦 ●遠藤貴哉 [フォール 2P 53秒]

▽74kg級1回戦 ●館崎佑太(宮古商業) [2-1] △2回戦 ●下村安武(種市) [2-0]

▽84kg級1回戦 ●千崎卓(宮古商業) [2-0] △2回戦 ●千崎卓 [0-2]

▽96kg級1回戦 ●高橋祐介(盛岡工業) [フォール 1P 25秒] △2回戦 ●工藤悟(盛岡工業) [0-2]

▽120kg級2回戦 ●斎藤直生(種市) [1-2] ○吉田光希(盛岡工業) [2-0] △3回戦 ●吉田光希 [フォール 1P 38秒]

▽50kg級2回戦 ●米倉祐樹(盛岡工業) [0-2] ○小林寿行(専大北上) [2-0] △3回戦 ●小林寿行 [フォール 1P 1分0秒]

▽55kg級1回戦 ●有川正(種市) [2-0] △2回戦 ●有川正 [0-2]

▽60kg級1回戦 ●千崎卓(宮古商業) [2-0] △2回戦 ●千崎卓 [0-2]

▽66kg級2回戦 ●遠藤貴哉 [フォール 2P 53秒]

▽74kg級1回戦 ●館崎佑太(宮古商業) [2-1] △2回戦 ●下村安武(種市) [2-0]

▽84kg級1回戦 ●千崎卓(宮古商業) [2-0] △2回戦 ●千崎卓 [0-2]

▽96kg級1回戦 ●高橋祐介(盛岡工業) [フォール 1P 25秒] △2回戦 ●工藤悟(盛岡工業) [0-2]

▽120kg級2回戦 ●斎藤直生(種市) [1-2] ○吉田光希(盛岡工業) [2-0] △3回戦 ●吉田光希 [フォール 1P 38秒]

開催が生んだ絆

八幡平市には未知の競技・レスリングでのインターハイ。大会を成功するために八幡平市に来た2人と生まれた絆があった。

村上和隆

「レスリングに携わり続け 八幡平市への恩返しを」



むらかみ・かずたか 昭和49年宮古市生まれ。平成15年から宮古商業教諭。選手時代はレスリングW杯銅メダルなど輝かしい成績を持つ。37歳。

津 波で実家が流された。父親を亡くした。震災直後は、インターハイのことを考えられなかった。5月から八幡平市に来て、準備を進めていたが開催できるか不安は消えなかった。それは「見えないゴールに向かって走っているようだった」と語る。しかし、八幡平市の人たちが毎日、一時避難する被災者の受け入れを対応しているのを知り、「中途半端な仕事はできない」と胸が熱くなった。6月の東北

高校選手権をリハール大会として開催し「インターハイを開催できる」と確信に変わった。「関係者から選手が安心して力を出せる大会だったと言われたのは、中止にせず開催できた八幡平市の力があってこそ」と感謝の気持ちの村上さん。9月から宮古商業高に戻るが「震災で失ったものは多いが、得たものもある。大会ができる喜びを胸に、これから指導していきたい。それが八幡平市への恩返し」と力強く語った。

高

校生最大のスポーツの祭典であるインターハイに2年連続で携われたとともに、岩手県の復興の役に立てる機会を与えてもらい感謝している。

友好都市の名護市が、急ぎよの八幡平市開催を知り、人手不足を察して派遣を申し出。石川さんは、6月24日から8月14日まで八幡平市に派遣された。名護市は、昨年の沖縄インターハイで剣道と自転車ロードレースを実施。同市の全国高校

総体推進室長を務めた経験を生かし、実行委員会の事務次長として大会運営などに取り組んだ。以前にも八幡平市に来たことはあるが、夏は初めて。「一日の間に名護市の夏と冬が来る気候に慣れるのが大変だったと話す。八幡平市にいる間は、休みの日も市内のいたるところを巡ったとのことで「ここでは沖縄にないものを体験できた。今度は子どもたちを連れて来たい。八幡平を名護市でもPRしたい」と誓った。

石川達義

「元気な岩手・八幡平市を 名護市でもPRしたい」



いしかわ・たつり 昭和34年名護市生まれ。同62年名護市役所入庁。3月まで全国高校総体推進室長。4月から教育委員会学校教育課長。52歳。

③南川隆太(熊本・玉名工業) 【最優秀選手】 高橋侑希(三重・いなべ総合学園)

【県勢の記録】

▽50kg級2回戦 ●米倉祐樹(盛岡工業) [0-2] ○小林寿行(専大北上) [2-0] △3回戦 ●小林寿行 [フォール 1P 1分0秒]

▽55kg級1回戦 ●有川正(種市) [2-0] △2回戦 ●有川正 [0-2]

▽60kg級1回戦 ●千崎卓(宮古商業) [2-0] △2回戦 ●千崎卓 [0-2]

▽66kg級2回戦 ●遠藤貴哉 [フォール 2P 53秒]

▽74kg級1回戦 ●館崎佑太(宮古商業) [2-1] △2回戦 ●下村安武(種市) [2-0]

▽84kg級1回戦 ●千崎卓(宮古商業) [2-0] △2回戦 ●千崎卓 [0-2]

▽96kg級1回戦 ●高橋祐介(盛岡工業) [フォール 1P 25秒] △2回戦 ●工藤悟(盛岡工業) [0-2]

▽120kg級2回戦 ●斎藤直生(種市) [1-2] ○吉田光希(盛岡工業) [2-0] △3回戦 ●吉田光希 [フォール 1P 38秒]